

平成27年7月31日

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科 で

脊椎の手術の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 脊椎術後感染に関する危険因子の検討（後ろ向き研究）

【研究機関】 鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

【研究責任者】 富永 博之（整形外科・リウマチ外科・助教）

【研究の目的】

脊椎の術後に発生する感染は治療に難渋し、重篤な症状につながる大きな問題です。これまでに、脊椎の術後感染の危険因子に関する研究報告はあるものの、いくつかの研究機関を対象にした共同研究であるため、抗生剤の投与方法や手指衛生など、実施医療機関ごとに違いがみられます。そこで、この研究では、鹿児島大学病院における脊椎の術後感染の危険因子を探索することで、脊椎感染症の予防に貢献することができます。

【研究の方法】

感染群と非感染群との二群間で各種パラメーターを Mann-Whitney' s test や Fisher exact test を用いて比較し、得られた危険因子候補に関して多変量解析を行います。

●対象となる患者さん

平成 17 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに、鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科を受診され、脊椎手術を受けた患者さんを対象としています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、現病歴、併存症、既往歴、手術時間、出血量、ASA 分類（アメリカ麻酔科学会における全身状態分類）、術前術後の白血球、血清蛋白、CRP の推移、手術方法の種類、インプラント抜去の有無、ドレーンや尿道バルーン留置期間

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学整形外科学の研究費で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術

発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院

整形・運動機能センター 整形外科・リウマチ外科

助教 富永 博之

電話 099-275-5381 FAX 099-275-4699